

## 2級販売士検定試験 受験者への注意事項

1. 試験は、筆記試験(「小売業の類型」「マーチャンダイジング」「ストアオペレーション」「マーケティング」及び「販売・経営管理」の5科目)を行います。

筆記試験(全5科目)の全科目を受験しないと失格になります。ただし、次のいずれかに該当する者は、販売・経営管理科目が免除されます。

なお、受験を希望する者は販売・経営管理科目を受験しても差し支えありませんが、この場合、免除規定は適用されません。

(1) 販売・経営管理科目が免除される者

ア 前々回の検定試験実施後、所定の2級販売士養成講習会を修了し、販売・経営管理科目の予備試験に合格した者

イ 前々回の検定試験実施後、所定の2級販売士養成通信教育講座(スクーリングを含む)を修了した者

2. 受験申込時において所定の申込書類のほか、別に定める受験料及び販売・経営管理科目免除者はその証明書等を提出してください。

3. 試験時間を間違えないように注意して下さい。遅刻した場合は、原則として受験できません。

4. 受験するときに持参するもの

(1) 受験票

(2) 筆記用具(HBまたはBの黒鉛筆・シャープペンシル、消しゴムのみ)

(3) そろばん・電卓等の計算用具

(4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書(運転免許証、旅券(パスポート)、社員証、学生証など)

※. ただし小学生以下の方は、必要ありません。

※. 身分証明書をお持ちでない方は、事前にご相談下さい。

5. 試験場では、受験票の番号と同じ番号の席に着いてください。

6. 試験場では、すべて試験委員の指示に従ってください。指示に従わない者あるいは不正行為を行った者は、退場させることがあります。

7. 試験中は発言をしないでください。質問があるときは、試験開始前に手を挙げて、試験委員に申し出てください。試験開始後の質問には、一切応じません。

8. 試験開始から20分間経過するまでは、退席を認めません。

また、トイレなどで一旦退出されますと再入場はできません。

## 9. 解答記入上の注意

### (1) 筆記試験全般に共通する注意事項

次の注意に反したときは、無効とします。

ア マークシート（答案用紙）にマークする際は、HBまたはBの鉛筆で、所定の欄をはっきりと塗りつぶしてください。（HBまたはB以外の鉛筆、ボールペン、万年筆等の筆記用具を使用した場合は、無効となります）

イ 解答を書き直す場合は、訂正する解答を消し残しが無いように消しゴムで綺麗に消し、解答をマークしてください。

ウ 一つの設問について、解答をすべて同一記号（数字）の選択をした場合は、無効とします。

例えば、すべて1あるいは2、または1・2・3……などと、順に選択した場合は無効となります。

エ 同一の問題について、複数の解答を選択した場合は、無効となります。

オ 免除科目のある方は、免除科目には解答しないでください。免除科目を解答した場合は採点対象となり、その科目の免除措置は適用されませんので注意して下さい。

10. 合格者として認定を受けた者（以下、「販売士」という）には、認定証（カード型）、合格証書を交付します。なお、希望者には有料（350円・税込）で合格章（バッジ）を交付しますので、希望される場合は、別府商工会議所に申し出てください。

また、認定証等は、合格後5年を経過した際の、資格の有効期間更新をする際に必要となりますので、大切に保管してください。

11. 氏名や自宅住所など連絡先に変更があった場合は、別府商工会議所または最寄りの商工会議所に必ず届け出てください。届出のない場合は、資格の管理ができません。

12. 合格証書を紛失または破損した場合、再発行はできませんが合格証明書を発行しますので、希望される方は別府商工会議所または最寄りの商工会議所に申し出てください。

また、認定証を紛失または破損した場合、有料（3,000円・税込）で再発行しています。